

平成26年度 事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 総括 | 1 |
| 実施事業の概要 | 1 |
| 事業の実施状況 | |
| 1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり | 3 |
| (1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進 | 3 |
| ① 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進 | 3 |
| ア. 赤い羽根共同募金 | 3 |
| イ. 歳末たすけあい募金運動 | 3 |
| ② やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実 | 3 |
| ア. 「walk in うつのみや at 福祉の祭典」の開催 | 3 |
| イ. 心のバリアフリーハンドブックの改訂 | 4 |
| ③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実 | 4 |
| (2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進 | 4 |
| ① ボランティア養成の推進 | 4 |
| ア. ボランティア体験プログラムの実施 | 4 |
| イ. 各種ボランティア養成講座の実施 | 5 |
| ② 福祉共育講座の充実 | 5 |
| ア. 出前福祉共育講座の実施 | 5 |
| イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの推進 | 6 |
| ウ. 福祉共育副読本・DVD作成事業の推進 | 6 |
| 2. 安心して暮らせる仕組みづくり | 7 |
| (1) 社会参画の促進 | 7 |
| ① 老人クラブ支援の充実 | 7 |
| ② 地区福祉まつり支援の充実 | 7 |
| ③ 男性高齢者調理講習会事業の充実 | 7 |
| (2) 情報提供体制の充実 | 7 |
| ① 総合相談センター機能の強化 | 7 |
| ② 地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発進の充実 | 8 |
| ア. 広報紙の発行 | 8 |
| イ. ホームページの充実 | 8 |
| ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実 | 8 |
| (3) 組織体制の強化 | 9 |
| ① 会務の運営 | 9 |
| ② 苦情解決体制 | 11 |
| (4) さまざまなニーズに応じたサービスの提供 | 12 |
| ① 法人後見事業の実施 | 12 |
| ② 介護保険事業の充実 | 12 |
| ア. 訪問介護事業の運営 | 12 |
| イ. 通所介護事業の運営 | 13 |

| | |
|--|----|
| ウ. 居宅介護支援事業の運営 | 13 |
| エ. 障がい福祉サービスの運営 | 13 |
| ③ 指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営 | 14 |
| ④ 福祉車両貸出サービス事業の推進 | 14 |
| ⑤ 車いす等貸出サービス事業の推進 | 14 |
| ⑥ 移送サービス事業の推進 | 14 |
| ⑦ 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進 | 14 |
| ⑧ ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進 | 15 |
| ⑨ 福祉機器・介護用品展示室の開設 | 15 |
| ⑩ 社会福祉資金貸付事業 | 15 |
| ⑪ 各種事業に対する共催・後援 | 15 |
| | |
| 3. 地域で支えあうまちづくり | 18 |
| (1) 共に支えあう地域づくり | 18 |
| ① コミュニティーワークの推進 | 18 |
| ② 地区社会福祉協議会支援の充実 | 18 |
| ア. 地区社協会長研修会の開催 | 18 |
| ③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進 | 18 |
| ④ 安心・安全情報キット配付事業の推進 | 18 |
| ⑤ 自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・ 地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進 | 18 |
| ⑥ 福祉団体などとの連携・協働の推進 | 18 |
| ⑦ まちづくりセンター等市民活動機関との連携・協働の推進 | 19 |
| ⑧ 各種行事助成・各種団体に対する補助 | 19 |
| ア. 第8回宇都宮市民福祉の祭典 | 19 |
| ⑨ ボランティアセンター機能の充実 | 19 |
| ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実 | 19 |
| イ. ボランティア団体への活動支援の推進 | 19 |
| ⑩ 災害ボランティア活動等の実施 | 20 |
| ⑪ ファミリーケアサービス事業の充実 | 21 |
| ⑫ ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進 | 21 |
| (2) 市民の主体的な地域活動への支援 | 22 |
| ① 小地域福祉活動計画策定の促進 | 22 |
| ② 福祉協力員制度の推進 | 22 |
| ③ 社会福祉協議会会員制度の充実 | 24 |
| ④ ぎんなん基金事業の充実 | 25 |
| ⑤ 善意銀行事業の促進 | 25 |
| ア. 金銭・物品の預託・払い出しの実施 | 25 |
| ⑥ 敬老会開催の支援 | 25 |
| | |
| 4. 指定管理施設等の管理・経営 | 26 |
| (1) 指定管理施設の管理・経営 | 26 |
| ① 老人福祉センターの管理・経営（5施設） | 26 |
| ア. ことぶき会館 | 26 |

| | | |
|-----|----------------------------|----|
| イ. | ふれあい荘 | 26 |
| ウ. | やすらぎ荘 | 27 |
| エ. | すこやか荘 | 28 |
| オ. | 上河内老人福祉センター | 29 |
| ② | 地域活動支援センターの管理・経営（3施設） | 29 |
| ア. | 雀の宮作業所 | 29 |
| イ. | 若草作業所 | 29 |
| ウ. | 障がい者福祉センター | 30 |
| ③ | 総合福祉センターの管理・経営（2施設） | 31 |
| ア. | 宇都宮市総合福祉センター | 31 |
| イ. | 河内総合福祉センター | 31 |
| (2) | 市からの受託事業等の実施 | 32 |
| ① | 障がい者生活支援センター事業の実施 | 32 |
| ② | 地域包括支援センター事業の実施 | 32 |
| ア. | 地域包括支援センター御本丸 | 32 |
| イ. | 上河内地域包括支援センター | 33 |
| ③ | 日中一時支援事業の実施 | 33 |
| ④ | 身体障がい者福祉バス事業の実施 | 34 |
| ⑤ | 奉仕員養成講座の実施 | 34 |
| ⑥ | 要約筆記者派遣事業の実施 | 35 |
| ⑦ | 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施 | 35 |
| ⑧ | 生活困窮者自立相談支援事業（モデル事業）の実施 | 35 |
| ⑨ | 援護事業の実施 | 35 |
| (3) | 県社協からの受託事業等の実施 | 36 |
| ① | 権利擁護センター「あすてらす」事業の実施 | 36 |
| ② | 成年後見制度利用促進事業（栃の実基金補助事業）の実施 | 36 |
| ③ | 生活福祉資金等貸付事業の実施 | 37 |
| ④ | コミュニティワーク推進モデル事業の実施 | 37 |

総 括

近年、我が国では少子高齢化社会へ向かう中、経済状況は依然として厳しく、また核家族化等の生活様式の変化により地域における近隣の方々との関わりが希薄化し、不安や孤独感を抱える一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加してきています。こうした状況下において、地域では経済的困窮や虐待・孤独死など、多種多様な新たな生活・福祉課題が生じています。

本会では、住民参加を主体とした地域福祉活動を推進する団体として、平成25年度からの5か年計画として策定した「第3次宇都宮市地域福祉活動計画」に基づき、誰もが住み慣れた地域で自立した心豊かな生活が送れるよう、ともに支えあい助けあいながら安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指し、様々な福祉事業や福祉活動を実施、推進いたしました。

平成26年度については、成年後見制度の理解と普及に努めるため法人後見事業を実施、宇都宮市より生活困窮者自立相談支援事業、高齢者等地域活動支援ポイント事業を受託するなど、地域の新たな生活・福祉課題へ対応する取り組みに着手いたしました。

また、従来から実施している介護保険事業及び指定管理施設の運営等について、経営の安定化・効率化、更なるサービスの向上に努めるとともに、東日本大震の避難者支援活動等を継続して実施しました。

実施事業の概要

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

地域社会の中で、誰もが手助け・見守り・声かけなどを自然に行えるよう、様々な啓発活動・交流活動を促進し、相互の理解を深めながら福祉のまちづくりの推進に取り組みました。

(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

誰もがやさしさや思いやり、お互いを尊重する気持ちをはぐくめるよう、出前福祉共育講座やボランティア養成講座などを開催し、福祉に関する人材の育成と福祉共育の推進に取り組みました。

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

誰もが心豊かに生きがいをもって自立した生活が送れるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を行い、社会参画の機会の確保に取り組みました。

(2) 情報提供体制の充実

多様な福祉サービスの中から、適切なサービスが受けられるよう、福祉に関する情報発信や相談機能を強化し、情報提供体制の充実に取り組みました。

(3) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

住み慣れた地域や家庭で自立した心豊かな生活が送れるよう、様々なニーズに応じた福祉サービスの提供の充実に取り組みました。

また、介護保険法に基づき、介護保険事業者として、要介護者等の心身の状況にふさわしい介護サービスを提供するとともに、サービスの質の向上や改善を行い、適切な事業運営に努めました。

3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

地域における生活課題に柔軟に対応できるよう、多様なネットワーク機能を充実させ、地域住民が共に支え合う地域づくりの推進に取り組みました。

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

誰もが地域福祉の担い手として、地域福祉活動を継続的に行えるよう、地域住民の自発的な活動への支援を充実させ、地域が一体となった地域福祉活動の推進に取り組みました。

4. 指定管理施設等の管理・経営

施設の設置目的や特性、業務内容、運営実態等を踏まえ、住民福祉の増進に努めるとともに、より効果的かつ効率的に施設の機能を発揮できる管理・経営に努めました。

また、宇都宮市及び栃木県社会福祉協議会からの受託事業について、事業の目的及び趣旨に基づき適正に実施しました。

事業の実施状況

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

①赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動を、多くの市民の参画により実施し、地域福祉事業や福祉施設へ配分金を交付し、市民協働の支えあい助けあい活動を推進した。

ア. 赤い羽根共同募金（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

- ・戸別募金 30,857,699円（134,117戸）
- ・街頭募金 363,913円（15団体）
- ・法人募金 1,696,313円（208事業所）
- ・学校募金 1,984,217円（159校）
- ・職域募金 419,142円（140箇所）
- ・その他の募金 974,137円（109件）

イ. 歳末たすけあい募金運動

○歳末たすけあい募金（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

- ・戸別募金 20,333,618円（134,117戸）
- ・篤志募金 29,326円（2件）

○歳末たすけあい運動配分事業

- ・施設配分 交付額 6,052,599円（125施設）
- ・団体配分 交付額 825,000円（12団体）
- ・地域配分 交付額 6,989,449円（39地区）
- ・地域福祉活動事業配分 交付額 8,770,370円（39地区）

②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

ア. 「walk in うつのみや at 福祉の祭典」の開催

生活をする上で誰もが必要な「移動」を、高齢者や障がい当事者と共に参加することで、「特別な体験」ではなく、「日常的な体験」に繋げ、相互理解を基本とした「心のバリアフリー（福祉の心）」の醸成に繋げる一般来場者の参加型イベントを、福祉の祭典にあわせて行った。

- ・主 催 宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会
- ・開 催 日 平成26年11月23日（日）勤労感謝の日
- ・会 場 オリオンスクエア周辺
- ・内 容 ①補助犬デモンストレーション
②体験活動（福祉の祭典会場周辺のバリアフリーチェックポイントをめぐる）
- ・協 力 団 体 宇都宮市障害者福祉会連合会・宇都宮市女性団体連絡協議会・宇都宮市民生委員児童委員協議会・宇都宮精神保健福祉会・宇都宮市母子寡婦福祉連合会・宇都宮市知的障害者育成会・東武ステーションサービス(株)東武宇都宮駅

- ・体験協力団体 東日本盲導犬協会・栃木補助犬協会・宇都宮ボランティア協会・宇都宮市視覚障害者福祉協会
- ・参加人数 ①補助犬デモンストレーション 120人
②体験活動 39人

イ. 心のバリアフリーハンドブックの改訂

心のバリアフリーハンドブック編集委員会を組織し、ハンドブックを改訂した。

- ・印刷部数 2,000部

③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

第8回宇都宮市民福祉の祭典（宇都宮市民福祉の祭典実行委員会）

- ・主催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会（宇都宮市社会福祉協議会・宇都宮ボランティア協会・宇都宮市等 計10団体）
- ・開催日 平成26年11月23日（日）勤労感謝の日
- ・会場 総合福祉センター・中央生涯学習センター・まちかど広場
オリオンスクエア・宇都宮市役所14階大会議室
- ・参加協力団体 86団体（前年比 -4団体）
- ・一般来場者 約10,000人（前年比 ±0人）
- ・内容 表彰のほか、バザー、模擬店、障がい者の作品展示コーナー、福祉書道展・絵画展、ボランティア相談コーナー、アトラクション、介護相談、スタンプラリー
チャリティマッサージ・メイク、補助犬・車いす等体験

※ バザー、模擬店などで得た収益金及び各参加団体等からの協力金
184,969円を「ぎんなん基金」にご寄附いただいた。

（2）福祉に関する人材の育成と共育の推進

①ボランティア養成の推進

ア. ボランティア体験プログラムの実施

ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に、宇都宮市まちづくりセンターと共催でボランティア体験プログラムを実施した。

（エコキャップ集計・運搬）

- ・期 日 平成26年4月19日（土）、5月17日（土）、6月21日（土）
7月19日（土）、8月23日（土）、9月20日（土）
10月18日（土）、11月15日（土）、12月20日（土）
平成27年1月17日（土）、2月21日（土）、3月14日（土）
全12回（前年比 ±0回）

- ・内 容 エコキャップ運搬活動を通し、ボランティア同士の交流を図った。
- ・参加者 延 78人 (前年比 -31人)
- ・個 数 16,937,700個 (前年比 -760,240個)
- ・キロ数 39,390kg (前年比 -5,118kg)

イ. 各種ボランティア養成講座の実施

| 講座名 | 内 容 | 開催日 | 開催回数 | 受講人数(延) | 前年比 |
|-----------------------|-------------------------------------|--|------|---------|------|
| 災害福祉救援ボランティア養成講座 | 災害時におけるボランティア養成講座 | 平成26年 6/7, 6/14, 6/21, 6/28, 7/5 | 全5回 | 91人 | -45人 |
| 月1ぼらんていあ Saturday | ボランティア活動への興味・きっかけづくりのための入門講座 | 平成26年 7/26, 8/2, 12/13 平成27年 3/14 | 全4回 | 68人 | -46名 |
| サマーボランティアスクール | 高校生・大学生等を対象にしたボランティア活動のきっかけづくりの入門講座 | 平成26年 8/5, 8/18~8/21 | 全5回 | 74人 | -4人 |
| 傾聴ボランティア養成講座 | 高齢者に対する傾聴ボランティア養成講座 | 平成26年 9/2, 9/9, 9/16, 9/30 | 全4回 | 79人 | +4人 |
| サンタクロースアカデミー in うつのみや | 気軽に楽しみながら参加できるサンタクロースボランティアを養成 | 平成26年 12/6, 12/14, 12/20 | 全3回 | 61人 | -71人 |
| 福祉共育サポーター養成講座 | 出前福祉共育講座を支援するサポーターの養成講座 | 平成27年 2/16, 2/23, 3/2, 3/9 | 全4回 | 56人 | -14人 |
| 災害ボランティアフォローアップ講座 | 災害ボランティア登録者を対象に行うフォローアップ講座 | 平成26年 8/23 平成27年 3/11 | 全2回 | 35人 | +2人 |

②福祉共育講座の充実

ア. 出前福祉共育講座の実施

- ・実施回数 延 146回 (前年比 +25回)

(手話体験46回、アイマスク体験30回、点字体験35回、盲導犬育成講話5回、
車いす体験26回、ボランティア講話4回)

・受講者 延 4,595人 (前年比 +301人)

イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの推進

福祉共育やボランティア活動の推進を図ることを目的に開催した。

○オモイツタエル3.11～ともしびプロジェクト in うつのみや～

- ・開催日 平成27年3月11日(水)
- ・共催 宇都宮市社会福祉協議会、ともしびプロジェクト宇都宮支部、
栃木避難者母の会、宇都宮大学地域連携教育研究センター、
宇都宮大学学生ボランティア支援室
NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク
宇都宮まちづくりセンターまちびあ
認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク
とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら、とちぎ暮らし応援会
(計10団体)

《第1部》 「ワスレナイ3.11キャラバン」
開催時間 午前10時00分～午後4時00分
開催場所 宇都宮市内キャラバン協力 保育園及び企業 (計4ヶ所)
参加者 100名

《第2部》 「ともしびプロジェクト(ともしび点灯)」
開催時間 午後6時00分～午後8時00分
開催場所 オリオンスクエア
参加者 300名

ウ. 福祉共育副読本・DVD作成事業の推進

障がい当事者団体の協力を得ながら、学校や地域で活用できる「教育副読本」、障がいの理解と啓発のための「DVD」作成に取り組んだ。

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

①老人クラブ支援の充実

各地域において介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブ及び地区連絡協議会を支援するとともに、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業の支援を行った。

○クラブ数 337クラブ

○会員数 19,287人

- ・老人クラブ社会奉仕の日(年3回) 延13,150人
- ・老人クラブのつどい式典 約350人
- ・軽スポーツ大会(グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げ) 約700人
- ・ねんりんピック栃木2014運営への参画

②地区福祉まつり支援の充実

地区社会福祉協議会が地域の関係機関等と協働して開催した地区福祉まつりの開催費用の一部を助成した。

(助成総額 150,000円)

- ・陽南地区
- ・城山地区
- ・清原地区

③男性高齢者調理講習会事業の充実

おおむね65歳以上の男性を対象に、自立した心豊かな生活がおくれるよう調理法を学ぶとともに、同世代の方々の仲間づくりや交流を図るために、地区社会福祉協議会が開催した調理講習会の開催費用の一部を助成した。

(助成総額 262,265円)

| | | | | |
|--------|-------|-----|-------|------------|
| ・東地区 | 4回開催 | 参加者 | 延 27人 | |
| ・西地区 | 2回開催 | 参加者 | 延 23人 | |
| ・昭和地区 | 14回開催 | 参加者 | 延162人 | |
| ・城山地区 | 2回開催 | 参加者 | 延 28人 | |
| ・宮の原地区 | 5回開催 | 参加者 | 延 50人 | |
| ・瑞穂野地区 | 3回開催 | 参加者 | 延 40人 | |
| ・国本地区 | 1回開催 | 参加者 | 25人 | |
| ・豊郷地区 | 5回開催 | 参加者 | 延 90人 | |
| ・篠井地区 | 1回開催 | 参加者 | 14人 | |
| ・河内地区 | 2回開催 | 参加者 | 延 32人 | |
| 合計 | 39回開催 | | 延491人 | (前年比 +48人) |

(2) 情報提供体制の充実

①総合相談センター機能の強化

地域住民の抱える生活・福祉問題等のさまざまな心配ごと、悩みごとの相談に応じられるよう「総合相談センター」を開設した。

(総事業費 4,009,288円)

○相談内容

| 種 別 | 件 数 | 種 別 | 件 数 |
|---------|-----|-------------|------------|
| 生計問題 | 25件 | 財産問題 | 46件 |
| 年金問題 | 2件 | 交通事故問題 | 2件 |
| 職業・生業問題 | 2件 | 児童福祉・母子保健問題 | 1件 |
| 住宅問題 | 41件 | 教育・青少年問題 | 1件 |
| 家族問題 | 53件 | 心身障がい者福祉問題 | 3件 |
| 結婚問題 | 5件 | 一人親福祉問題 | 2件 |
| 離婚問題 | 25件 | 高齢者福祉問題 | 7件 |
| 健康・衛生問題 | 3件 | 苦情問題 | 19件 |
| 医療問題 | 1件 | その他 | 416件 |
| 精神衛生問題 | 45件 | 合 計 | 699件 |
| 人権・法律問題 | 0件 | | (前年比 +64件) |

※ 開設回数 延 360回 (うち 特別相談日 47回、巡回相談日 70回)

- ・生活福祉相談 月～金曜日
- ・巡回相談 毎月各1回
 第1木曜日：ことぶき会館、第2木曜日：ふれあい荘
 第3木曜日：やすらぎ荘、第4木曜日：すこやか荘
 第1火曜日：河内総合福祉センター
 第2火曜日：上河内老人福祉センター
- ・特別相談 毎月各1回
 第3火曜日：法律相談、第3水曜日：心身障がい者相談
 第3木曜日：更生相談、第3金曜日：精神保健福祉相談

②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

ア. 広報紙の発行

定期的に福祉情報等の提供を行い、市民に社会福祉協議会の活動内容の理解を深めてもらうために、広報紙「うつのみや社協だより」を発行した。

- ・第152号 平成26年 4月20日発行 21,000部
- ・第153号 平成26年 7月 1日発行 21,000部
- ・第154号 平成26年10月 1日発行 21,000部
- ・第155号 平成27年 2月 1日発行 21,000部

イ. ホームページの充実

福祉に関する情報、社協の概要など、より見やすく使いやすく提供できるように努めた。

ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

老人福祉センター（5施設）、地域活動支援センター（3施設）、総合福祉センター（2施設）を地域の福祉拠点として、福祉情報の提供及び地域福祉事業等の推進を図った。

- ・総合相談センターの巡回相談の開設

- ・各種地域福祉講座・講習会等の福祉情報の提供
- ・車いす等の福祉機器の貸出

(3) 組織体制の強化

①会務の運営

【理事会の開催】

○平成26年5月20日（火）

（議 事）

- ・副会長の選任について
- ・評議員の委嘱について
- ・指定障害福祉サービス居宅介護事業所宇都宮市社会福祉協議会運営規程の一部改正について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○平成26年5月27日（火）

（議 事）

- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について

○平成26年10月29日（水）

（議 事）

- ・評議員の委嘱について
- ・宇都宮市社会福祉協議会公印管理規程の一部改正について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について

○平成27年3月20日（金）

（議 事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会総合相談センター設置規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会ファミリーケアサービス事業実施規程の一部改正について
- ・評議員の委嘱について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について
- ・平成27年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成27年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

○平成27年3月28日（土）

（議 事）

- ・ 正副会長の選任について
- ・ 職務代理者の指名について
- ・ 常務理事の指名について

【監事会の開催】

○平成26年5月14日（水）

（監 査）

- ・ 平成25年度 事業執行及び会計処理について

【評議員会の開催】

○平成26年5月27日（火）

（議 事）

- ・ 指定障害福祉サービス居宅介護事業所宇都宮市社会福祉協議会運営規程の一部改正について
- ・ 平成26年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・ 平成25年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・ 平成25年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○平成26年11月11日（火）

（議 事）

- ・ 理事の選任について
- ・ 社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会公印管理規程の一部改正について
- ・ 平成26年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について

○平成27年3月28日（土）

（議 事）

- ・ 宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会総合相談センター設置規程の一部改正について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- ・ 宇都宮市社会福祉協議会ファミリーサービス事業実施規程の一部改正について
- ・ 役員の選任について
- ・ 平成26年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について
- ・ 平成27年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・ 平成27年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

【ぎんなん基金運営委員会の開催】

○平成27年3月2日（月）

（報告事項）

- ・平成26年度ぎんなん基金活用状況、寄附及び積立金の運用状況について

（協議事項）

- ・平成27年度ぎんなん基金活用計画（案）について
- ・ぎんなん基金の課題について
- ・ぎんなん基金の今後の取り組みについて

【事業経営委員会の開催】

○平成27年3月2日（月）

（報告事項）

- ・平成26年度指定管理施設及び介護保険事業等の経営状況について

（協議事項）

- ・指定管理施設及び介護保険事業等の平成27年度の取り組み（案）について

【地域福祉事業運営委員会の開催】

○平成27年2月24日（火）

（報告事項）

- ・第3次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
- ・平成26年度主要な地域福祉・ボランティア事業報告について

（協議事項）

- ・平成27年度主要な地域福祉・ボランティア事業計画（案）について

【歳末たすけあい事業配分委員会の開催】

○平成26年9月3日（水）

（報告事項）

- ・平成25年度歳末たすけあい運動募金実績について
- ・平成25年度歳末たすけあい運動地区別実績について

（協議事項）

- ・平成26年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項（案）について
- ・歳末たすけあい運動の継続検討課題について

②苦情解決体制

福祉サービス等についての苦情に対し、各部署・施設等に苦情受付窓口を設けるとともに、第三者委員を設置し、社会性や客観性の確保を図りながら、円滑で円満に問題を解決するための体制を整え適切に対応した。

【第三者委員会の開催】

○平成26年6月9日（月）

（報告事項）

- ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決システムの概要について
- ・平成25年度苦情の状況について

苦情件数 16件

（前年比 -16件）

(4) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

①法人後見事業の実施

認知症や知的障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を尊重するため、法人後見事業を行った。

| | | |
|------------|--------------------|------------|
| ・法人後見運営委員会 | 4回 | (前年比 +1回) |
| ・法人後見受任 | 10件(後見類型9件、補助類型1件) | (前年比 +5件) |
| ・相談件数 | 49件 | (前年比 +19件) |

②介護保険事業の充実

ア. 訪問介護事業の運営

(総事業費 32,091,876円)

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳(延人数) (単位:人)

| 区分 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|----|-------|-------|------|-------|------|-------|
| 計 | 1,384 | 2,588 | 939 | 1,034 | 169 | 6,114 |

(前年比 +822人)

・サービス種別利用状況内訳(延回数) (単位:回)

| 区分 | 生活援助 | 身体・生活 | 身体介護 | 合計 |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 計 | 3,461 | 1,265 | 1,388 | 6,114 |

(前年比 +822回)

○介護予防訪問介護事業

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳(延人数) (単位:人)

| 区分 | 要支援1 | 要支援2 | 合計 |
|----|------|------|-----|
| 計 | 123 | 270 | 393 |

(前年比 -13人)

・サービス種別利用状況内訳(延回数) (単位:回)

| 区分 | 予防Ⅰ | 予防Ⅱ | 予防Ⅲ | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 計 | 165 | 182 | 46 | 393 |

(前年比 -13回)

・予防Ⅰ:週1回程度 予防Ⅱ:週2回程度 予防Ⅲ:週3回程度

イ. 通所介護事業の運営 【河内事業所で実施】 (総事業費 23,033,623円)

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数) (単位:人)

| 区分 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|----|------|------|------|------|------|-------|
| 計 | 470 | 707 | 213 | 238 | 37 | 1,665 |

(前年比 -16人)

○介護予防通所介護事業【河内事業所で実施】

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数) (単位:人)

| 区分 | 要支援1 | 要支援2 | 合計 |
|----|------|------|-----|
| 計 | 30 | 416 | 446 |

(前年比 -157人)

ウ. 居宅介護支援事業の運営 (総事業費 16,058,152円)

要介護者が、居宅において自立した生活を営むために必要な居宅サービス等を適切に受けられるよう、居宅サービス計画や相談援助を実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数) (単位:人)

| 区分 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 計 | 98 | 244 | 315 | 386 | 139 | 151 | 19 | 1,352 |

(前年比 -131人)

エ. 障がい福祉サービスの運営 (総事業費 9,586,933円)

居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、障がい福祉サービス(居宅介護・生活介護)を実施した。

・居宅介護(ホームヘルプサービス)利用者延人数等

| 区分 | 利用者延数人 | 利用者延回数 |
|----|--------|--------|
| 計 | 224人 | 1,923回 |

(前年比 -18人)

・生活介護(デイサービス)利用者延人数等

| 区分 | 利用者延人数 | 利用者延回数 |
|----|--------|--------|
| 計 | 276人 | 276回 |

(前年比 -34人)

③指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営

障がい児・者のサービス等利用計画・障害児利用支援計画について計画作成およびモニタリングや相談支援を実施した。

・利用者内訳（延人数）

（単位：件）

| 区分 | 計画作成 | モニタリング |
|-----------|------|--------|
| 指定特定相談支援 | 92 | 43 |
| 指定障害児相談支援 | 0 | 8 |
| 計 | 92 | 51 |

④福祉車両貸出サービス事業の推進

身体機能の低下や障がいなどにより公共交通機関の利用が困難な方に、通院や各種行事等への参加のために車いすのまま乗降できる福祉車両を貸し出した。

・貸出件数 延 56件（稼働日68日） （前年比 -62件）

⑤車いす等貸出サービス事業の推進

一時的に車いす等が必要となった方などへ、市内10か所において原則3ヵ月を限度に貸し出した。

・貸出件数 延 348件（車いす、松葉杖等） （前年比 -69件）

⑥移送サービス事業の推進

身体障がい者及び高齢者等で公共交通機関の利用が困難な方の便宜を図るため、医療機関・公共施設等への移送サービスを実施することにより、自立生活の支援を図った。

（総事業費 992,848円）

○利用内容

（前年比 ±0人）

| 登録者数 | 利用回数（延） | 稼働日数 | 利用時間（延） | 総走行距離 |
|------|---------|------|---------|---------|
| 37人 | 352回 | 209日 | 688時間 | 8,712km |

⑦福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

理美容店に出向くことが困難な65歳以上の在宅の寝たきり高齢者に対して、散髪を行った際の出張費の補助を行った。

（総事業費 413,876円）

・申請者 112人

・利用件数（補助券）269枚

（前年比 +29枚）

⑧ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

おおむね70歳以上の近隣に近親者のいないひとり暮らし高齢者の家庭に、乳酸飲料を配達、手渡しすることにより、安否の確認と孤独感の解消を図った。

(総事業費 3,829,810円)

- ・利用者 延 4,910人 (月平均 409人)
- ・配達本数 延 58,609本 (前年比 -3,250本)
- ・状況確認 85件 (配達時に不在のため詳細を確認)
- ・緊急対応 2件

⑨福祉機器・介護用品展示室の開設

寝たきり高齢者等の介護者に、介護を容易にするための福祉機器及び介護用品等の情報を提供するため、福祉機器・介護用品展示室を開設した。

- ・利用者数 延 112人 (前年比 -6人)

⑩社会福祉資金貸付事業

貸付の債権の管理を行った。

- ・完了件数 1件 (前年比 ±0件)
- ・累積貸付件数 9件 (前年比 -11件)

⑪各種事業に対する共催・後援

| 事業内容 | 団体名 | 区分 |
|---|---------------------------------|----|
| 第51回関東甲信越肢体不自由児者父母の会 連合会栃木大会 | 栃木県肢体不自由児者父母の会連合会 | 後援 |
| 平成26年度地域福祉推進シンポジウム ～新たな生活困窮者支援制度から“よりそい型支援” を考える～ | (一社)社会的包摂サポートセンター コールセンターとちぎ | 〃 |
| 劇団カップ座公演「しらゆきひめ」 | 宇都宮カップ友の会 | 〃 |
| ギャンブル依存症「基礎講座」～治療法と解決策～ | ギャンブル依存症問題を考える会 | 〃 |
| 第116回チャリティトチギアートオークション | (有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部 | 〃 |
| 第7回 宇都宮市老人クラブのつどい | 宇都宮市老人クラブ連合会 | 〃 |
| 2014年夏季炊き出し | 2014年夏季炊き出し実行委員会 | 〃 |
| 第8回栃木・吃音(どもり)を考えるつどい | 栃木言友会 | 〃 |
| 第33回栃木県障害者卓球選手権大会 | 栃木県障害者卓球連盟 | 〃 |
| 第117回チャリティトチギアートオークション | (有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部 | 〃 |

| | | |
|--|---|----|
| WRESTLEー1 宇都宮大会 | (有) ニューワールドオーダー | 後援 |
| 第17回星の家まつり | 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 | 〃 |
| チャリティーウォーク 56.7 | 特定非営利活動法人 とちぎボランティアネットワーク | 〃 |
| 第2回 Tiny Family Concert ～障がいがあってもなくても子どもから大人までみんなが楽しむコンサート～ | 宇都宮共和大学 | 〃 |
| 第21回 岡本台病院ふれあいまつり | 栃木県立岡本台病院 | 〃 |
| 第118回チャリティーチギアートオークション | (有) 匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部 | 〃 |
| 宇都宮市障害者福祉連合会地域交流事業 ノーマライゼーションフェスティバル6th 「明日へ向かう力をつかむ」～障害とともに生きる～ | 社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉連合会 | 〃 |
| 第15回スミセイさわやか介護セミナー | (株)下野新聞社 | 〃 |
| 映画「じんじん」宇都宮市上映会 | 映画「じんじん」宇都宮市上映実行委員会 | 〃 |
| 被災地障がい者の「働く」を応援！ とちぎ防災フォーラム2015 | 障がい児者支援とちぎ | 〃 |
| DXな日々 美んちゃんの場合 | (一社) 地域サポーターダנקの会 | 〃 |
| 第119回チャリティーチギアートオークション | (有) 匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部 | 〃 |
| 2014年冬季炊き出し | 2014年冬季炊き出し実行委員会 | 〃 |
| 第22回「歳末たすけあい民謡民舞大会」 | 宇都宮民謡民舞連合会 | 〃 |
| 第17回青少年の自立を支える会コンサート | 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 第17回青少年の自立を支える会コンサート 実行委員会 | 〃 |
| 第120回チャリティーチギアートオークション | (有) 匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部 | 〃 |
| 2015年 第4回栃木県乗馬大会 | 特定非営利活動法人 障害者のための馬事普及協会 | 〃 |
| 認知症の人と家族の会 第31回全国研究集会 | 第31回全国研究集会担当支部 | 〃 |
| 平成26年度 福祉レクリエーション研修会 | 栃木県レクリエーション協会 | 〃 |
| 宇都宮市まちづくりシンポジウム ～ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けて～ | 宇都宮市 | 〃 |

| | | |
|-----------------------------------|--------------------|----|
| 劇団カッパ座公演「みにくいアヒルの子」 | 宇都宮カッパ友の会 | 後援 |
| 五家英子チャリティー歌謡ショー | 五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 | 〃 |
| 第10回とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン2015 | (公財)とちぎYMCA | 〃 |
| 第35回全国ろう学生の集い | 第35回全国ろう学生の集い実行委員会 | 〃 |

3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

①コミュニティワークの推進

コミュニティワーカー（地区担当スタッフ）を中心に、地域の生活・福祉課題の把握、またその課題の解決方法、さらに社会資源の点検や新たな社会資源の開発等を、関係機関・団体等と連携・協働で行える体制づくりに努めると共に、地域住民が主体的に地域福祉事業（活動）に参画できるよう、支援を強化した。

・コミュニティワーカー配置数：6名

②地区社会福祉協議会支援の充実

ア. 地区社協会長研修会の開催

- ・期 日 平成26年10月23日（木）～24日（金）
- ・視 察 地 国際医療福祉大学リハビリテーションセンター
- ・研 修 内 容
 - ・国際医療福祉大学准教授 林和美氏による講演
 - ・国際医療福祉大学リハビリテーションセンターの見学

③ふれあい・いきいきサロン事業の推進

ひとり暮らし高齢者などの居場所を確保し、地域ぐるみで見守り・支援を行う「ふれあい・いきいきサロン」の設置を促進した。

・32地区 126か所 (ふれあい・いきいきサロン助成金 3,322,568円)
(サロン健康増進事業助成金 2,580,780円)

④安心・安全情報キット配付事業の推進

在宅の高齢者及び障がい者等に対し、緊急時における救急隊などの支援者への速やかな対応と、日常における地域での見守り活動を促進するため、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などを確認できる「安心・安全情報キット」を配付した。

・5地区 2,167本（累計34地区 延13,703本）

⑤自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進

市社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会が取り組む福祉協力員活動やひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業などにおいて、自治会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携・協働を進めた。

⑥福祉団体などとの連携・協働の推進

ボランティアセンターが取り組む「出前福祉共育講座」「ボランティア養成講座」や、地域で取り組む各種イベントにおいて、障害者福祉会連合会や老人クラブ連合会などの福祉団体と連携・協働を進めた。

⑦まちづくりセンター等市民活動機関との連携・協働の推進

市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会が取り組むボランティア事業等において、まちづくりセンターなどの関係機関・団体との連携・協働体制を推進した。

⑧各種行事助成・各種団体に対する補助

ア. 第8回宇都宮市民福祉の祭典（宇都宮市民福祉の祭典実行委員会）

助成額 250,000円

⑨ボランティアセンター機能の充実

市民のボランティアに関する理解を深め、関心を高めるとともに、近隣の住民同士が助け合うことを基本としたボランティア活動の推進を図るため、ボランティアセンターの運営を行った。

（総事業費 13,952,970円）

ア. ボランティア相談・登録・調整の充実

ボランティアの発掘及び育成支援を目的に、ボランティア相談並びにマッチング（調整）に努めた。

| | | |
|----------------|---------|-------------------------|
| ・各種相談・問合せ | 10,320件 | （前年比 +136件） |
| ・ボランティア活動調整件数 | 594件 | （前年比 +5件） |
| ・ボランティア登録数（団体） | 212団体 | 7,933人（前年比 +39団体 +435人） |
| （個人） | 111人 | （前年比 +5人） |

イ. ボランティア団体への活動支援の推進

○宇都宮ボランティア協会への助成

宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。

○中間支援組織との連携強化

宇都宮市まちづくりセンター等の中間支援組織との情報共有及び連携を強化した。

○ボランティア活動用機材の貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、市内3か所（本所及び支所）の窓口において、活動に必要な機材の貸出しを行い、活動を支援した。

| | | |
|--------------------------|--------|-----------|
| ・貸出件数 | 延 135件 | （前年比 -8件） |
| （液晶プロジェクター、テレビデオ、スクリーン等） | | |

○ボランティアルームの貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出しを行い、活動を支援した。

| | | |
|-------|---------|-------------------------|
| ・貸出件数 | 延 204団体 | 1,511人（前年比 +18団体、-101名） |
|-------|---------|-------------------------|

○ボランティアロッカーの貸出

登録しているボランティア団体を対象に、ロッカーの貸出しを行い、活動を支援した。

- ・貸出団体数 36団体 (前年比 ±0 団体)

○ひとり暮らし高齢者友愛訪問の実施

- ・訪問者数 50人 (前年比 ±0 人)

- ・活動内容 話し相手、清掃など

○対面朗読サービスの実施（ボランティア活動実践事業）

視覚障がいのある方等に対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面にて読み上げる朗読サービスを、音訳ボランティアの協力により実施した。

- ・実施回数 16回 (前年比 ±0 回)

(利用者の希望により調整)

- ・利用者数 延 17人 (前年比 +4 人)

- ・協力ボランティア数 延 29人 (前年比 -1 人)

○出前福祉共育講座連絡会

出前福祉共育講座に協力いただいている講師等との交流会を開催し、講座プログラムの開発を検討した。

- ・開催日 平成27年3月3日(火)

- ・参加者 11人(視覚障がい者・身体障がい者講師・アシスタント) (前年比 ±0 人)

- ・内容 「出前福祉共育講座」プログラムの検討

⑩災害ボランティア活動等の実施

○東日本大震災復興支援並びに避難者支援活動

東日本大震災復興支援活動をしている関係機関・団体とともに支援活動を行った。

| 日時 | 内容 | 参加人数 |
|---------------------------------|---|------|
| 平成26年12月6日(土)、 14日(日)、20日(土) | ・サンタクロースアカデミー(再掲) サンタクロースボランティアを養成。避難者家族への訪問等 | 61名 |
| 平成27年3月11日(水) | ・福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催(再掲) オモイツタエル3.11ともしびプロジェクト in うつのみや 被災地支援活動状況のパネル展示及び支援活動を行った。 とちぎ暮らし応援会、栃木避難者母の会、 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク、 NPO法人宇都宮まちづくり市民工房、 NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク、 災害ボランティア養成講座修了生、畑楽会 | 40名 |

○宇都宮市総合防災訓練

災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し設置運営訓練を行った。

平成26年8月23日(土) 宇都宮市立河内中学校 24名
(宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生)

⑪ファミリーケアサービス事業の充実

日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者等の世帯(利用会員)に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供した。

(総事業費 4,391,609円)

| | | |
|---------|---------------------------|--------------|
| ・利用会員 | 73人 | (前年比 +2人) |
| ・協力会員 | 26人 | (前年比 -4人) |
| ・利用件数 | 2,916件 | (前年比 -161件) |
| ・利用時間 | 4,290時間 | (前年比 -237時間) |
| ・サービス内容 | 掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添い等 | |

⑫ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進

ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業を実施した地区社会福祉協議会に対し、事業費の一部を助成した。

ア. 39地区社協(全地区)へ助成 (助成総額 8,810,800円)

イ. ふれあい会食事業に携わる地区の方々を対象に、食への安全・安心を図るため「食中毒・食品衛生講習会」を開催し、保健所による食中毒・食品衛生指導を受け、地区社協の事例をもとに会食事業を実施するうえでの工夫等を学んだ。

開催日 平成26年6月26日(木)

参加者 127人 (前年比 +33人)

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

①小地域福祉活動計画策定の促進

生活・福祉課題の解決を図ることや住民の地域福祉活動への積極的な参画の促進を目的に、モデル地区社会福祉協議会を1地区選定し、地域の関係機関・団体と連携しながら小地域福祉活動計画の策定を進めた。

②福祉協力員制度の推進

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会への支援及び活動費の助成を行った。

(助成総額 4,214,000円)

○地区別 福祉協力員数

| 地 区 | 協力員数 | 地 区 | 協力員数 |
|-------|------|-------|----------------------|
| 中 央 | 42人 | 陽 南 | 58人 |
| 東 | 55人 | 緑 が 丘 | 68人 |
| 西 | 48人 | 陽 光 | 52人 |
| 築 瀬 | 12人 | 宮 の 原 | 39人 |
| 西 原 | 50人 | 横 川 | 112人 |
| 昭 和 | 53人 | 瑞 穂 野 | 37人 |
| 錦 | 33人 | 雀 宮 | 95人 |
| 城 東 | 35人 | 五代若松原 | 41人 |
| 今 泉 | 42人 | 戸 祭 | 72人 |
| 泉 が 丘 | 55人 | 御 幸 | 39人 |
| 峰 | 53人 | 御幸ヶ原 | 42人 |
| 平 石 | 14人 | 細 谷 | 63人 |
| 石 井 | 145人 | 篠 井 | 10人 |
| 陽 東 | 45人 | 富 屋 | 17人 |
| 清 原 | 96人 | 国 本 | 60人 |
| 桜 | 45人 | 豊 郷 | 141人 |
| 宝 木 | 71人 | 上 河 内 | 43人 |
| 富 士 見 | 70人 | 河 内 | 164人 |
| 明 保 | 29人 | 合 計 | 2,372人 (前年比 +19人) |
| 城 山 | 49人 | | |
| 姿 川 | 177人 | | |

○福祉協力員表彰式並びに委嘱状交付式の開催

ブロック別福祉協力員研修会と併せて表彰式を開催し、長年に渡り活動を続けられた福祉協力員に対してその功績を称えました。

・受賞者数 95名

○ブロック別福祉協力員研修会の開催

福祉協力員活動の推進と充実を図ることを目的に、ブロックごとに福祉協力員研修会を開催した。

【共通テーマ】

| | |
|------|--------------------------------|
| 内 容 | 講演「誰もが安心して暮らせる地域づくりのために今できること」 |
| 講 師 | 宇都宮市社会福祉協議会 事務局長 岡地和男 |
| 事例発表 | 各ブロック代表福祉協力員 |

・中央ブロック研修会

| | |
|-----|---------------|
| 開催日 | 平成26年8月26日(火) |
| 参加者 | 81人 |

・南部ブロック研修会

| | |
|-----|---------------|
| 開催日 | 平成26年8月29日(金) |
| 参加者 | 144人 |

・西部ブロック研修会

| | |
|-----|---------------|
| 開催日 | 平成26年8月30日(土) |
| 参加者 | 121人 |

・北部・上河内・河内ブロック研修会

| | |
|-----|--------------|
| 開催日 | 平成26年9月2日(火) |
| 参加者 | 168人 |

・東部ブロック研修会

| | |
|-----|--------------|
| 開催日 | 平成26年9月5日(金) |
| 参加者 | 157人 |

③社会福祉協議会会員制度の充実

社協会員の拡大を図り、地域福祉事業を推進するための自主財源（会員会費）の確保に努めた。

| 地 区 | 合 計 | | 地 区 | 合 計 | | | |
|--------|-------|--------|-----------|--------|---------|------------|-----------|
| | 会 員 数 | 会 費(円) | | 会 員 数 | 会 費(円) | | |
| 中央ブロック | 中 央 | 1,466 | 550,600 | 南部ブロック | 陽 南 | 2,783 | 835,100 |
| | 東 | 1,627 | 501,700 | | 緑が丘 | 2,517 | 773,312 |
| | 西 | 1,897 | 579,600 | | 陽 光 | 1,060 | 318,200 |
| | 築 瀬 | 1,625 | 487,660 | | 宮の原 | 1,607 | 482,100 |
| | 西 原 | 1,398 | 429,000 | | 横 川 | 5,144 | 1,657,973 |
| | 昭 和 | 1,691 | 507,500 | | 瑞穂野 | 2,133 | 639,900 |
| | 錦 | 1,489 | 453,060 | | 雀 宮 | 9,423 | 2,156,123 |
| 東部ブロック | 城 東 | 1,669 | 500,850 | 五代若松原 | 1,645 | 493,500 | |
| | 今 泉 | 1,167 | 350,200 | 北部ブロック | 戸 祭 | 3,006 | 929,450 |
| | 泉が丘 | 866 | 629,600 | | 御 幸 | 1,544 | 463,300 |
| | 峰 | 2,308 | 631,998 | | 御幸ヶ原 | 2,228 | 654,301 |
| | 平 石 | 790 | 237,100 | | 細 谷 | 3,480 | 1,057,850 |
| | 石 井 | 2,949 | 884,925 | | 篠 井 | 599 | 186,900 |
| | 陽 東 | 1,869 | 565,636 | | 富 屋 | 849 | 254,700 |
| | 清 原 | 6,058 | 2,229,500 | | 国 本 | 3,350 | 1,011,300 |
| 西部ブロック | 桜 | 1,601 | 534,790 | | 豊 郷 | 8,805 | 2,641,500 |
| | 宝 木 | 3,700 | 1,136,890 | 上河内 | 1,877 | 671,900 | |
| | 富士見 | 3,383 | 1,035,800 | 河 内 | 7,203 | 2,171,661 | |
| | 明 保 | 1,326 | 398,000 | 事務局 | 419 | 3,214,000 | |
| | 城 山 | 3,347 | 1,005,075 | 合 計 | 108,113 | 36,127,074 | |
| | 姿 川 | 6,215 | 1,864,520 | | | | |

※過去5年間における会費の状況は、次のとおりである。

| 区分 | 年度 | 平成26年度 | 平成25年度 | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|-----------|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 合 計 | 会員数 | 108,113 | 110,749 | 112,252 | 109,834 |
| 会費(円) | | 36,127,074 | 36,587,635 | 37,289,661 | 37,462,438 | 37,816,661 |
| 会費前年度比(%) | | -1.2 | -1.9 | -0.4 | -0.9 | +0.3 |

④ぎんなん基金事業の充実

ぎんなん基金寄附金を受け入れて、基金の造成に努めた。

- ・寄附状況 136件（企業、団体、個人等） 3,507,564円
（前年比 -32件、-34,785,412円）

⑤善意銀行事業の促進

ア. 金銭・物品の預託・払い出しの実施

| 項目 | 金額 | 前年比 | 備考 |
|---------------|------------|-----------|----|
| 前年度繰越金 | 4,363,178円 | +45,510円 | |
| 預託金受入 | 75,220円 | -44,780円 | |
| 使用済み切手換金 | 93,552円 | +93,552円 | |
| プルタブ換金 | 71,884円 | +54,024円 | |
| 未使用・書き損じハガキ換金 | 0円 | -7,650円 | |
| 入れ歯リサイクル換金 | 13,086円 | +13,086円 | |
| 預託合計 | 4,616,920円 | +153,742円 | |

| | | | |
|-------|----------|-------------------|----------------|
| 預託金払出 | 70,000円 | +60,000円 (+1件) | 預託者の指定 (2件) |
| | 130,000円 | +40,000円 (+4件) | 火災見舞金 (13件) |
| 払出合計 | 200,000円 | +100,000円 | |

| | | | |
|--------|------------|--|----------|
| 次年度繰越金 | 4,416,920円 | | +53,742円 |
|--------|------------|--|----------|

○預託・収集物品

- ・預託品 43件（電動ベット、車いす、タオル等） （前年比 +5件）
- ・収集物品 924件（使用済み切手・テレホカート、プルタブ、エコキャップ等）
（前年比 -99件）
- ・払い出し 47件（電動ベット、車いす、タオル等） （前年比 -2件）

⑥敬老会開催の支援

宇都宮市、市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会の共催により開催した敬老会の開催費用の一部を助成した。

- ・39地区社協（全地区）へ助成 （助成総額 4,556,370円）

4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

①老人福祉センターの管理・経営（5施設）

ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘・上河内

(指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)

(総運営費 205,877,270円)

ア. ことぶき会館

○利用状況

- ・開館日数 294日 (前年比 +3日)
- ・利用者数 延 86,863人 1日平均 295人 (前年比 -1,149人)

(延人数)

| 区 分 | | 内 訳 |
|---------|--------|------------------------|
| 送迎バス利用者 | | 7,008人 |
| 教養講座 | | 12講座 277回 9,921人 |
| 健康相談等 | 血圧測定 | 3,815人 |
| | 健康相談 | 3,847人 |
| | 応急処置 | 6人 |
| | 健康器具利用 | 32,999人 |

○年間行事等

- ・ことぶき文化祭の開催 平成26年10月18日(土)～19日(日)
- ・ことぶき健康みんなの大学(健康講話・健康チェック・つば体操教室・栄養講座・栄養相談・調理講座・骨密度測定等)の開催 81回
- ・ボランティア団体等の受入(民謡発表会・マジックショー等)
- ・栃木SC健康教室の開催 1回
- ・宇都宮ブリッツェンいきいき健康自転車教室の開催 1回

イ. ふれあい荘

○利用状況

- ・開館日数 289日 (前年比 -6日)
- ・利用者数 延 49,364人 1日平均171人 (前年比 +4,054人)

(延人数)

| 区 分 | | 内 訳 |
|---------|--------|------------------------|
| 送迎バス利用者 | | 1,324人 |
| 教養講座 | | 17講座 305回 4,103人 |
| 健康相談等 | 血圧測定 | 3,294人 |
| | 健康相談 | 421人 |
| | 応急処置 | 10人 |
| | 健康器具利用 | 17,690人 |

○年間行事等

- ・ふれあい文化祭の開催 平成26年10月16日(木)～17日(金)
- ・ふれあい音楽祭の開催 3回
- ・健康講話講座の開催 1回
- ・囲碁将棋自主講座交流大会の開催 1回
- ・ボランティア団体等の受入(映画鑑賞会)
- ・栃木SC健康教室の開催 1回
- ・交通安全啓発運動の開催(管轄警察署協力) 1回
- ・宇都宮ブリッツェンいきいき健康自転車教室の開催 1回

ウ. やすらぎ荘

○利用状況

- ・開館日数 294日 (前年比 ±0日)
- ・利用者数 延 45,326人 1日平均154人 (前年比 +1,700人)

(延人数)

| 区 分 | | 内 訳 |
|---------|--------|------------------------|
| 送迎バス利用者 | | 4,919人 |
| 教養講座 | | 15講座 361回 7,540人 |
| 健康相談等 | 血圧測定 | 2,540人 |
| | 健康相談 | 1,011人 |
| | 応急処置 | 13人 |
| | 健康器具利用 | 17,894人 |

○年間行事等

- ・やすらぎ祭の開催 平成26年10月26日(日)～27日(月)
- ・健康講話の開催 1回
- ・敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会の開催
- ・地域小学校との交流会の開催
- ・ボランティア団体等の受入(鍼灸体験・民話発表・映画鑑賞会等)
- ・栃木SC健康教室の開催 1回

エ. すこやか荘

○利用状況

- ・開館日数 294日 (前年比 -1日)
- ・利用者数 延 62,173人 一日平均211人 (前年比 +1,149人)

(延人数)

| 区 分 | | 内 訳 |
|---------|--------|------------------------|
| 送迎バス利用者 | | 6,454人 |
| 教養講座 | | 15講座 317回 8,891人 |
| 健康相談等 | 血圧測定 | 1,429人 |
| | 健康相談 | 1,152人 |
| | 応急処置 | 50人 |
| | 健康器具利用 | 34,191人 |

○年間行事等

- ・すこやか荘文化祭の開催 平成26年11月7日(金)～8日(土)
- ・交通安全啓発運動の開催(管轄警察署協力)
- ・地域児童との世代間交流事業の開催
- ・ボランティア団体等の受入(軽音楽演奏会)
- ・栃木SC健康教室の開催 1回

オ. 上河内老人福祉センター

○利用状況

- ・開館日数 246日 (前年比 ±0日)
- ・利用者数 延 5,608 一日平均23人 (前年比 +942人)

(延人数)

| 区 分 | | 内 訳 |
|-------|--------|--------------------|
| 教養講座 | | 5講座 90回 826人 |
| 健康相談等 | 血圧測定 | 497人 |
| | 健康相談 | 497人 |
| | 応急処置 | 0人 |
| | 健康器具利用 | 254人 |

○年間行事等

- ・上河内老人福祉センター祭の開催 平成26年10月18日(土)
- ・健康体操の開催 32回
- ・健康教室「寒くなる季節のウォーキング」の開催 1回
- ・スポーツ吹矢講座の開催 3回
- ・布ぞうり作り教室の開催 1回
- ・栃木SC健康教室の開催 1回
- ・地域で実施する「ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会事業」への支援 6回

②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)

雀の宮作業所・若草作業所 (指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)
(総運営費 43,684,000円)

ア. 雀の宮作業所

○利用状況

- ・開所日数 244日 (前年比 ±0日)
- ・利用登録者数 17人 (前年比 ±0人)
- ・利用者数 延 2,632人 (前年比 -160人)

イ. 若草作業所

○利用状況

- ・開所日数 244日 (前年比 ±0日)
- ・利用登録者数 14人 (前年比 -2人)
- ・利用者数 延 2,604人 (前年比 -114人)

○生産活動の機会の提供

- ・電機部品の組立・菓子箱の組立・文書の封筒詰め及びシール貼り・各種製品箱詰め及び袋詰め・ダンボール製品組立て・DM封入作業等

○社会参加・自立促進

- ・野外レクリエーション・社会適応訓練・社会見学・クリスマス会等の開催
- ・宇都宮市民福祉の祭典・うつのみやふれあい文化祭・栃木県障がい者スポーツ大会等への参加

ウ. 障がい者福祉センター（指定管理期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

（総運営費 36,516,000 円）

【講座事業】

○利用状況

- ・利用登録者数 延 117人 (前年比 -11人)

(延人数)

| 区 分 | 内 訳 |
|------|------------------------|
| 講座事業 | 15講座 361回 3,019人 |

○年間行事等

- ・地域活動支援センターとの交流会の開催 2回
- ・宇都宮ふれあい文化祭・宇都宮市民福祉の祭典・カルフルとちぎへの参加
- ・作品展の開催（市民プラザ・松ヶ峰ギャラリー・宇都宮市民福祉の祭典・市役所市民ホール）
- ・出前講座（パンフラワー短期講座）の開催 2回

【地域活動支援センター事業】

○利用状況

- ・利用登録者数 11人 (前年比 ±0人)

○年間行事等

- ・野外療育訓練の開催 1回
- ・講座事業との交流会の開催 2回
- ・宇都宮市民福祉の祭典への参加
- ・音楽療法・買い物訓練・レクリエーション等の実施
- ・外食訓練・料理実習の実施

【医療生活相談】

○相談状況

- ・開催回数 4回 (前年比 -1回)
- ・利用者数 4人 (前年比 -2人)

③総合福祉センターの管理・経営（2施設）

宇都宮市総合福祉センター（指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日）

河内総合福祉センター（指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日）

ア. 宇都宮市総合福祉センター

(総運営費 75,536,000円)

○利用状況

- ・開館日数 331日 (前年比 -6日)

(延人数)

| 区 分 | 内 訳 | |
|-----------|---------|--------------|
| 会議室等利用者 | 71,798人 | (前年比 +150人) |
| | 4,465団体 | (前年比 +102団体) |
| 電子健康機器利用者 | 6,504人 | (前年比 +602人) |

イ. 河内総合福祉センター

(総運営費 56,871,000円)

○利用状況

- ・開館日数 293日 (前年比 -4日)

(延人数)

| 区 分 | 内 訳 | |
|-----------|---------|-------------|
| 会議室等利用者 | 11,775人 | (前年比 -514人) |
| | 505団体 | (前年比 -12団体) |
| 大広間等利用者 | 26,291人 | (前年比 -955人) |
| | 浴室利用者 | |
| | 60歳以上 | 17,373人 |
| | 60歳未満 | 223人 |
| | 障がい者 | 923人 |
| | 子ども | 35人 |
| 電子健康機器利用者 | 8,856人 | (前年比 -114人) |
| 送迎バス利用者 | 1,831人 | (前年比 -461人) |

※1 会議室等利用状況は、団体室・ボランティア室・朗読室含

(2) 市からの受託事業等の実施

①障がい者生活支援センター事業の実施

宇都宮市障がい者生活支援センター（総合福祉センター）（平成 14 年 10 月 1 日受託）

（総事業費 16,024,849 円）

- ・相談支援を利用している障がい者（児）の数 延 870人 （前年比 -305人）
- ・相談件数 延 1,821件 （前年比 -1,507件）
- ・個別支援会議 11回開催 （前年比 -28回）

②地域包括支援センター事業の実施

ア. 地域包括支援センター御本丸（平成 18 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 32,703,551 円）

○担当地区 中央地区・築瀬地区・城東地区

○総合相談支援事業

- ・相談者数 延 430人 （前年比 +101人）

○地域会議の開催

- ・中央地区 2回 ・築瀬地区 2回 ・城東地区 2回

○げんき応援高齢者支援業務

- ・介護保険認定申請非該当者へのケアマネジメント 延 32件 （前年比+17人）

○介護予防支援事業

- ・介護予防サービス、支援プラン作成 延 1,588件 （前年比+79人）
（うち、居宅介護支援事業所委託 986件）

○介護予防教室の開催

- ・中央地区 12回 ・築瀬地区 12回 ・城東地区 12回

○家族介護教室の開催

- ・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延 3回

○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

| 地 区 | 見守り活動会議 | 安否確認状況 |
|------|---------|--------|
| 中央地区 | 1回 | 55回 |
| 築瀬地区 | 3回 | 24回 |
| 城東地区 | 14回 | 0回 |

○地域介護予防活動支援事業

- ・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 3団体 延 9回

イ. 上河内地域包括支援センター(平成19年4月1日受託)

(総事業費 26,320,360円)

○担当地区 上河内地区

○総合相談支援事業

- ・相談者数 延 252人 (前年比 -100人)

○地域会議の開催

- ・上河内地区 2回

○げんき応援高齢者支援業務

- ・介護保険認定申請非該当者へのケアマネジメント 延 69件 (前年比-2人)

○介護予防支援事業

- ・介護予防サービス、支援プラン作成 延 611件 (前年比-48人)
(うち、居宅介護支援事業所委託 281件)

○介護予防教室の開催

- ・上河内地区 36回

○家族介護教室の開催

- ・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延 2回

○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

- ・見守り活動会議 延 6回

○地域介護予防活動支援事業

- ・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 2団体 延 3回

○その他の事業

- ・認知症サポーター養成講座の開催 1回 延 23人 (前年比 -12人)

③日中一時支援事業の実施

- ・あっとほーむ・うだい (放課後支援型 平成19年7月12日受託)
- ・あっとほーむ・すずめ (放課後支援型 平成16年4月1日受託)
- ・あっとほーむ・かわち (放課後支援型 平成22年4月1日受託)
- ・河内地域活動支援事業所 (日中支援型 平成19年5月24日受託)

(総事業費 21,199,271 円)

○施設別内容

| 施設名 | 区 分 | 開所日数 | 定 員 (1日あたり) | 利用者延人数 |
|-------------|--------|-------|----------------|---------|
| あっとほーむ・うだい | 放課後支援型 | 233 日 | 10 人 | 2,180 人 |
| あっとほーむ・すずめ | 放課後支援型 | 244 日 | 7 人 | 1,069 人 |
| あっとほーむ・かわち | 放課後支援型 | 244 日 | 10 人 | 1,495 人 |
| 河内地域活動支援事業所 | 日中支援型 | 244 日 | 5 人 | 892 人 |
| 合 計 | | | | 5,636 人 |

(前年比 -224 人)

④身体障がい者福祉バス事業の実施 (昭和 54 年 5 月 1 日受託)

障がい者の社会参加を促進するため、福祉バスの運行を行った。

(総事業費 9,068,089 円)

○利用状況

- ・稼働日数 170 日 (前年比 +9 日)
- ・利用団体数 延 170 団体 (前年比 +9 団体)
- ・利用人数 延 3,887 人 (前年比 +159 人)

⑤各種奉仕員養成講座の実施

(総事業費 1,190,700 円)

| 種 別 | | 内 容 | 開催日 | 開催回数 | 受講人数 (延) | 前年比 |
|---------------|-----|------------|---------------------------------------|--------|-------------|--------|
| 手話奉仕員 養成講座 | 入 門 | 手話の基礎知識と実技 | 平成 26 年 5 月～ 9 月の毎水曜日 | 全 18 回 | 176 人 | -153 人 |
| | 基 礎 | 手話の応用知識と実技 | 平成 26 年 9 月～ 平成 27 年 3 月の 毎水曜日 | 全 23 回 | 163 人 | -184 人 |
| 点訳奉仕員 養成講座 | 入 門 | 点訳の基礎知識と実技 | 平成 26 年 5 月～ 9 月の毎火曜日 | 全 20 回 | 174 人 | -29 人 |
| | 中 級 | 点訳の応用知識と実技 | 平成 26 年 10 月 ～平成 27 年 3 月 の毎火曜日 | 全 20 回 | 157 人 | -40 人 |
| 音訳奉仕員 養成講座 | 初 級 | 音訳の基礎知識と実技 | 平成 26 年 5 月～ 8 月の毎水曜日 | 全 15 回 | 298 人 | +86 人 |
| | 中 級 | 音訳の応用知識と実技 | 平成 26 年 9 月～ 平成 27 年 2 月の 毎水曜日 | 全 20 回 | 326 人 | +72 人 |

⑥要約筆記者派遣事業の実施

(再掲：総事業費 745,007 円)

聴覚障がい者等を対象に、日常生活を営むうえでコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣することにより社会参加を円滑にし、障がい者福祉の増進を図った。

- ・派遣依頼数 77件 (前年比 +14件)
- ・活動筆記者数 104人 (前年比 +25人)

⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施

(再掲：総事業費 3,132,000 円)

高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいをづくりを応援する「宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業」(平成26年10月から認定開始)の管理運営機関として、円滑かつ適正に事業を展開しました。

- ・認定団体数 182団体
- ・対象者数 5,140人

⑧生活困窮者自立相談支援事業(モデル事業)の実施 (平成26年6月25日受託)

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対し、自立に向けた相談支援を行った。

- ・相談件数(新規受付実人数) 141件
- ・継続支援者数 34件
- ・支援件数 延 794件
- ・支援調整会議 3回
- ・事業運営委員会 2回

⑨援護事業の実施

所持金紛失等により、目的地まで行くことのできない行旅人に対して、旅費(500円限度)を貸付した。

- ・行旅人 142人 71,000円 (前年比 -13人)

(3) 県社協からの受託事業等の実施

①権利擁護センター「あすてらす」事業の実施 (平成11年10月1日受託)

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が十分でない方々に対し、安心して地域等で暮らせるよう相談に応じるとともに、福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービスを提供した。

(総事業費 9,538,800円)

- ・担当地区 宇都宮市・上三川町
- ・契約者数 124人 (新規契約者:31名) (前年比 +7人)
- ・一般相談 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
- ・相談件数 延 2,554件
- ・相談者内訳

| 区 分 | 相 談 件 数 | 前年比 |
|---------|---------|-------|
| 認知症高齢者 | 1,473件 | +321件 |
| 知的障がい者 | 329件 | +31件 |
| 精神障がい者 | 621件 | +26件 |
| 身体障がい者 | 126件 | -12件 |
| その他 | 5件 | -1件 |
| 合 計 (延) | 2,554件 | +365件 |

②成年後見制度利用促進事業(栃の実基金補助事業)の実施

○成年後見制度理解啓発講座の実施

成年後見制度の更なる理解啓発を図るとともに、関係機関とのネットワークづくりを推進するために実施した。

- ・実施日 平成27年2月20日(金)
- ・講師 落語家 桂ひな太郎 師匠
大門社会福祉士事務所 所長 大門亘 氏
市民後見とちぎ 星野智枝 氏
- ・対象者 一般市民
- ・参加人数 193名

③生活福祉資金等貸付事業の実施

(総事業費 8,471,309 円)

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲の向上及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援した。

| 資金種別 | | 申請件数 |
|-----------|--------------|------|
| 生活福祉資金 | 総合支援資金 | 18件 |
| | 福祉資金(福祉費) | 5件 |
| | 福祉資金(緊急小口資金) | 9件 |
| | 教育支援資金 | 22件 |
| | 不動産担保型生活資金 | 1件 |
| 臨時特例つなぎ資金 | | 6件 |
| 合計 | | 61件 |

(前年比 -45件)

・相談件数 延 1,694件

(前年比-401件)

④コミュニティワーク推進モデル事業(栃木県社協受託事業:平成26~27年度)

アドバイザーの指導・助言、また先進社協の取組を学びながら、コミュニティワークを実践していくための体制づくりや、コミュニティワーカーの資質向上を図った。また、事業の中で、小地域福祉活動計画の策定に取り組んだ。

